

自民党 衆議院議員  
前外務副大臣

## 活動報告書

## 木原誠一

せいじ便り 82号



誠心誠意、政策で。

<東村山にも2020TOKYO  
オリ・パラの感動が!!>

東村山市、中国の  
ホストタウンに登録

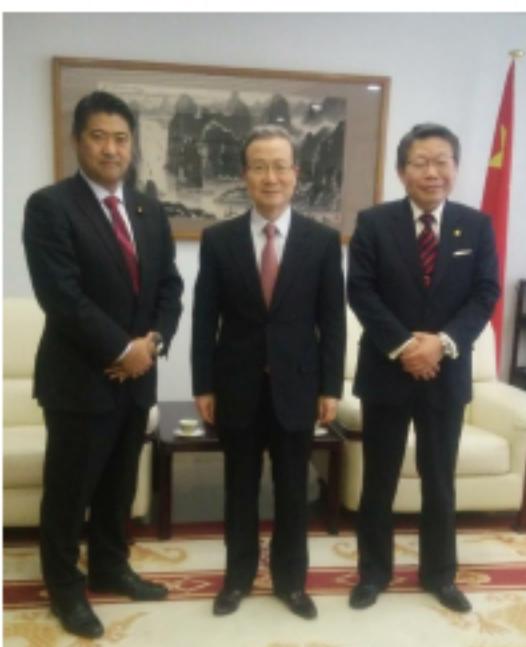
昨年末以来、「東村山市の市民、子どもにも2020TOKYOオリンピック・パラリンピックの感動を」を合言葉に、外務大臣政務官、外務副大臣として培つたネットワークを活かしながら、市民の皆様と活動を進め、中国のオリンピック・ナショナルチームの東村山市での事前キャンプ誘致を最終ゴールに設定しつつ、交渉を進めてきました。

先ずは、昨年12月21日～26日、私が団長となり、東村山市・渡部尚市長、市議会、体育協会、サッカー協会、青年会議所、地元商工業者、自治会の関係者など13人の方の参加をいただき、中国を訪問しました。北京では、中国オリンピック委員会副主席（国家体育総局副局长）、文科教育部体育衛星局長と会談、また東村山市と姉妹都市関係にある蘇州市でも市当局、体育協会関係者と面談をしてきました。

この結果、2020年TOKYOオリ・パラに向けて、青少年のスポーツ交流、相互訪問を行い、2020年には中国オリンピアン・パラリンピアンの東村山市訪問、2020年以後もスポーツ交流を続けることで概ね合意をしました。

この合意を外交当局との合意に格上げすべく、4月6日には、在京中国大使館の程大使のもとに渡部尚市長をお連れし、協力要請とともに、5月2日～5日再び北京を訪問し、直接、中国外交部に支

援を要請しました。同時に、6月には、中國とのスポーツ交流の基点となる市民グループとして、「東村山国際文化スポーツ交流協会」を立ち上げたところです。一方、日本国内では、2020 TOKYOオリ・パラに向けて、全国の地方自治体が参加国を「おもてなし」し、相互交流を進める「ホストタウン」の仕組みがあります。東村山市も、春先から、日本外務省、中国外交部の協力も得ながら、内閣府に対し中国のホストタウンとなることを申請してきましたが、7月7日、申請が許可されました。



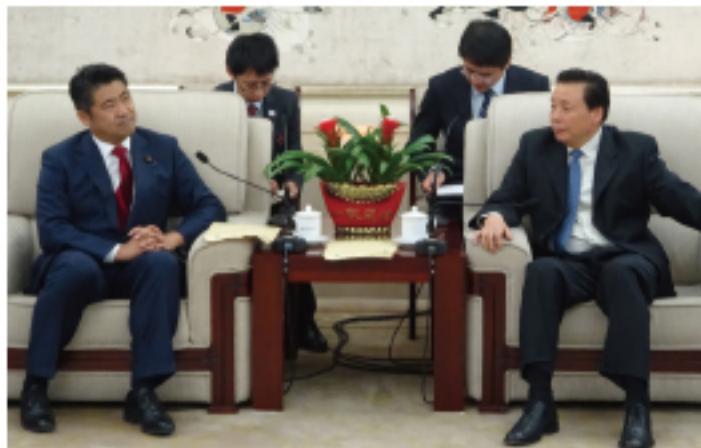
いよいよ、  
交流がスタート

このホストタウン登録を受け、いよいよ交流事業がスタートします。先ずは、7月26日、27日と中国のサッカー少年達が東村山市を訪問し、サッカー大会・教室に参加します。また、子どもたちの訪問に合わせ、日中友好の証とするべく、運動公園に

て植樹の式典も行われます。

さらに、秋

には、中国  
伝統芸能で  
ある「評弾」  
(びんたん、  
琵琶や三弦  
で詩を歌い  
あげるもの)  
の公演を東  
村山市中央  
公民館で行  
うべく準備  
を進めてい  
ます。



## 何故、中国なの・・?

オリンピック・パラリンピックは、4年に1回の大切なスポーツ・平和の祭典です。その感動の一端を事前キャンプという形であっても東村山市で味わってもらいたいと思います。

加えて、今年は日中邦交正常化45周年、来年は日中平和友好条約締結40周年の節目の年、東村山市には蘇州市との間に長年にわたる交流があるので、是非東村山から日中友好の一歩を踏み出したいとも思います。

更に、2020年には年間1000万人を超えると予想される中国からの訪日客を、新宿から30分、国宝・正福寺、伝統の酒蔵、豊かな食文化もある東村山市に呼び込む絶好の機会です。

## 宏池会シンポジウム大成功

前回のせいじ便りで報告したとおり、私が所属する政策集団「宏池会」は、本年創設60周年を迎え、60周年記念事業実行本部を立ち上げ、私が幹事長として、様々な事業にチャレンジしています。

4月の記念パーティー、5月の地方事業(広島)に続き、7月4日、憲政記念館において、政策シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、宏池会会长の岸田文雄外務大臣、座長の林芳正元農水大臣、昭和女子大理事長で「女性の品格」の著者としても有名な坂東真理子さん、日本資本主義の父といわれる渋沢栄一さんの玄孫である渋沢健さんの4名をパネリストとして「持続可能な21世紀の資本主義」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。

私は、パネルディスカッションのモダレーター(進行役)をさせていただきましたが、当日は、800人もの多くの方にお越しいただき、実に有意義なシンポジウムを行うことができました。そのパネルディスカッションの中で、岸田会長からは、①経済成長重視とともに格差是正に取り組む必要があること、②経済とともに財政の持続可能性・規律が重要であること、③女性や高齢者などが生き活きと活躍する多様性が大切であること、④権力には常に謙虚に望むべきこと、といった宏池会としての基本的立場が示されました。

今後は、9月の秋の山梨研修に向けて、事業を展開していきます。



### PROFILE



前外務副大臣、前外務大臣政務官。財政・金融全般、外交政策、社会保障・行革、都市農業など幅広く活動を展開。1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書に「英國大蔵省から見た日本」(文春新書)

Facebook <https://www.facebook.com/seiji.kihara>

twitter ID [http://twitter.com/kihara\\_seiji](http://twitter.com/kihara_seiji)

### 地元事務所

〒189-0013 東村山市栄町2-28-2 久米川武蔵ビル1階  
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

### 国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館915号室  
TEL 03-3508-7169 FAX 03-3508-3719

<http://www.kiharaseiji.com>

発行：木原誠二後援会 東村山市栄町2-28-2 久米川武蔵ビル1階